

心身の発達に心配のある子どもをサポートする

登別市児童デイサービスセンターのぞみ園

9月18日(水)、北海道から『市町村中核子ども発達支援センター』として認定を受けた『登別市児童デイサービスセンターのぞみ園』は、地域の発達支援を担う中核的な施設として、児童発達支援や放課後等デイサービスの『通所支援』、保育所等訪問支援や障害児相談支援の『地域支援』、機関訪問支援などによる『地域連携』を行っています。

主なサービス内容

- ①児童発達支援・放課後等デイサービス
子どもの発達状況に応じて、グループ療育や個別療育、理学療法士による運動訓練を行います。
- ②保育所等訪問支援
支援員が子どもが通う保育所や幼稚園などを訪問し、集団活動に適応した行動ができるよう支援を行います。
- ③障害児相談支援
相談支援専門員が子どもや保護者の希望を聞き、サービスの利用計画を作成します。
- ④機関訪問支援
支援員が登別市内の子育て関連機関や保育所・幼稚園・小中学校を訪問し、先生などからの発達に心配のある子どもの対応などに関する相談に応じます。
- ⑤発達相談
子どもと家族が抱える発達や教育に関する悩みについて、臨床心理士や理学療法士、言語聴覚士、保育士が、相談を受けます。電話による相談も受け付けています。



登別市幌別町3丁目17-4
9時～17時30分
(祝日・年末年始を除く)
(☎011-7721)

利用にかかる費用

③から⑤については、無料で利用できますが、①と②については、通所支援受給者証が必要で、利用者負担が生じます。
※利用者の年齢や世帯の市民税課税状況によって、負担が生じない場合もあります。

心配ごとは、すぐに相談を

「友達と上手に遊べない」、「コミュニケーションをとるのが苦手」、「手先や体の使い方が不器用」、「同年代の子どもと比べて言葉を発するのが遅い気がする」、「どのように対応したら良いかわからない」など、子どもに関する心配ごとはありませんか。のぞみ園では、心理や運動、言語に関する専門職員が、子どもの状況を確認し、必要に応じて発達支援をしたり、一緒に悩みごとの解決方法を考えます。

12/8(日)

第15回

『障害者週間』記念事業に参加しませんか

市内で活動する障がいに関する団体で構成される登別市障害者福祉関係団体連絡協議会は、12月の障害者週間に合わせて、記念事業を開催しています。今回は、障がいのある方の働く場や日中の活動の場づくりに取り組んでいる社会福祉法人ホープ・佐藤春光さんによる講演のほか、就労支援施設などで製造された品物の販売や障がいのある人が制作した作品展示などが行われます。入場は無料ですので、参加して『障がい』について理解を深めませんか。

日時 12月8日(日)12時30分～(12時開場)

場所 市民会館2階中ホール

問い合わせ 同協議会事務局・吉野さん

(☎011-0083)

